

氷見市長 林 正之 様

# 要 望 書



ご貴殿には、日ごろ元気なふるさと氷見の再生に取り組まれ、安全・安心のまちづくりにご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。

私たちの住む老谷地区は宝達志水町と接する県境の地にあり、県の指定する「老谷山田地区」と称する地滑り防止地区となっています。

生活戸数 12 戸で白山宮を中にして南北に散在し、連絡道は県道氷見惣領志雄線 {76} の下岩瀬から分岐した市道老谷中央線約 3Km が隣村の葛葉に連絡し、一方老谷岩瀬線林道約 1,9Km が県道高岡羽咋線 {29} に県境で繋がっています。

老谷中央線は当地区には重要な生活道路であり、昭和 46 年～48 年に拡幅工事を実施していただき、加えて間もなく舗装道路として、冬季の除雪も良好で利便性の高い道路として生まれ変わり今日に至っております。

近年は気象事情の変化も激しく昨年暮れから本年初めは昭和 38 年豪雪に匹敵する積雪になり、その後 7 月末から猛暑に見舞われ、そして先般 8 月 31 日から 9 月 1 日にかけての豪雨に襲われ、老谷中央線の岩瀬境から約 300m 付近で道路が陥没し、今も通行不能となっています。

幸いに老谷岩瀬線林道により、孤立化を避けることが出来ましたが、林道は市道に比して幅員も狭く、急勾配でカブもきつく、冬季の除雪も一車線確保のみと考えますので、通勤や有事の対応に適さないと憂慮しています。

また、現在コミュニティバスの利用者の冬季対応も懸念されますので、下記のとおり地区を代表して要望致します。

#### 記

地区民は早期に陥没した市道の復興を願っていますが本工事は、早くも次年度とお聞きしていますので、当面は本年の年暮から来春の冬季の生活道の確保を心配しています。

今回の陥没部分は、昭和 46 年の拡幅工事の際、河川にコルゲート管を敷設し盛土した箇所が陥没していますので、昭和 46 年以前の旧道箇所を仮設道路として開設していただき、地域の利便性を回復していただきますよう要望致します。

以上

平成 30 年 9 月 13 日

老谷区長 森 学



S 46年以前

